



(写真) @anadebande “スペイン下院 ギンサレス候補を大統領と認識するようサンチェス政権に要請”

## 2024年9月11日（水曜）

### 政治

- 「[西議会](#) [ギンサレス候補の大統領認識を要請](#)  
[～マドゥロ政権 西との関係断絶も視野に～](#)」
- 「[野党](#) [ブラジル大使館前で政治犯解放の集会](#)」
- 「[日本ら40カ国超](#) [野党への迫害停止を要請](#)」
- 「[ミランダ州知事・アプレ州知事が交代](#)」

### 経済

- 「[西・ベネズエラ](#) [取引停止の影響は？](#)  
[～原油取引、国際線、西資本企業など影響大～](#)」
- 「[副大統領](#) [ドミ共3.5億ドルの債権を主張](#)」
- 「[ヤラクイ州](#) [天候不良でアボガドが不作](#)」

## 2024年9月12日（木曜）

### 政治

- 「[米国政府](#) [マドゥロ政権関係者16人に制裁](#)  
[～マドゥロ政権 カタール合意違反を主張～](#)」
- 「[米国](#) [人権侵害で約2000人のビザ停止](#)」
- 「[ギンサレス候補](#) [サンチェス首相と会談](#)」

### 経済

- 「[OVF](#) [24年GDP成長率は前年比3.2%増](#)」
- 「[コーヒー](#) [豊作だが販売価格が安く農家は不満](#)」
- 「[ベネズエラ経済特区](#) [は国際スタンダード準拠](#)」

### 社会

- 「[9月末から新学年](#) [私立学校授業料は30%増](#)」

2024年9月11日(水曜)

## 政治

「西議会 ギンサレス候補の大統領認識を要請  
～マドゥロ政権 西との関係断絶も視野に～」

9月11日 スペイン下院議会は、サンチェス政権に対して、エドムンド・ギンサレス候補をベネズエラの大統領と認識するよう要請した。

EFE 通信によると、この要請を承認するための決議は賛成177議席、反対164議席で承認されたという。

この決議は「国民党(PP)」の Cayetana Álvarez de Toledo 議員によるもので、PP、VOX、UPN、Coalicion Canaria、Partido Nacionalista Vasco の所属議員が賛成した。

一方、サンチェス首相が所属する「スペイン社会労働党(PSOE)」議員らは反対票を投じた。

この決議が承認されたことを受けて、ベネズエラのホルヘ・ロドリゲス国会議長は

「このような蹂躪行為は受け入れられない」

「我々は黙っていない」

「このような短期間で過去に行った深刻な外交・政策的失敗を繰り返すことを受け入れられない」とコメント。

スペインとの外交・領事・商業・空路など全ての関係を断絶することを検討するよう外交政策委員会に要請した。

この発言に対して、スペインの Carlos Cuerpo 経済商業相は「スペイン政府はベネズエラで活動する企業の利害を守るよう努める」「我が国の企業の利害を守るため貿易・投資を維持するよう努める」「ベネズエラの状態に関しては何も変化していない」「平静になるようメッセージを送る」と発言。

報道によると、今回のスペイン下院議会の要請には法的拘束力は無くサンチェス政権は必ずしも国会の要請に従いギンサレス候補をベネズエラの大統領と認識する義務はないようだ。

スペイン大統領府の Pilar Alegría 報道官も「スペインの関心事はベネズエラ国民との良好な関係を維持することである」とコメント。

また、サンチェス首相は「仲裁の余地を残すため EU と協調している」と説明している。

現時点では、マドゥロ大統領の当選を認識することなく、ベネズエラの「選挙管理委員会(CNE)」に投票結果の詳細を開示するよう要請している。

## 「野党 ブラジル大使館前で政治犯解放の集会」

9月11日 野党支持者らが政治犯の解放を求めた。参加者はチャカオのボリバル広場に集合し、在ベネズエラ・ブラジル大使館まで行進した。



Comanditos Con Vzla @ComanditosVzla · 13h

La causa de la libertad no olvida a todos los que injustamente son víctimas de este régimen y están en prisión solo por querer o trabajar por una nueva Venezuela.

Hasta que el último sea libre es nuestra lucha.

#LibertadParaTodosLosPresosPolíticos



(写真) @ComanditosVzla

人権団体「Foro Penal」によると、政治的な理由で拘束されているのは1808人（1651人は民間人、157人が軍人）だという。

### 「日本ら40カ国超 野党への迫害停止を要請」

9月10日 40カ国超の政府が、ベネズエラ野党政治家および野党支持者に対する迫害を停止するよう求め、違法に拘束した人々を即時解放するよう求める声明文に署名した。

同声明文を読み上げたのは、アルゼンチンの Diana Mondino 外相。

署名した国は米国、カナダ、アルゼンチン、チリ、エクアドル、グアテマラ、パラグアイ、パナマ、ペルー、ドミニカ共和国、ウルグアイ、EU（27カ国）、英国、オーストラリア、日本だという。

### 「ミランダ州知事・アプレ州知事が交代」

9月10日 マドゥロ大統領は、ミランダ州知事およびアプレ州知事の交代を発表した。

現在のミランダ州知事はエクトル・ロドリゲス氏だが、今回の交代により Elio Serrano 氏（国会議員）がミランダ州知事になる。

エクトル・ロドリゲス氏は、8月の閣僚交代の際に教育相（兼社会主義担当副大統領）に任命されていた。

また、アプレ州はこれまでエドゥアルド・ピニャテ氏が知事を務めていたが、今回の交代により Wilmer Rodríguez 氏がアプレ州知事に就任する。

Wilmer Rodríguez 氏は、農業土地省傘下の畜産系国営会社「Agroflora」の社長を務めていた人物。

エドゥアルド・ピニャテ氏も8月の閣僚交代の際に労働相に任命されていた（[「ベネズエラ・トゥデイ No.1108」](#)）。

## 経 済

### 「西・ベネズエラ 取引停止の影響は？」

～原油取引、国際線、西資本企業など影響大～

マドゥロ政権は、貿易・投資を含めてスペインとの経済関係を断絶すると脅している。

現時点で実現するとは思えないが、仮にスペイン政府がゴンサレス候補を大統領と認識した場合には起こり得るだろう。

経済系メディア「Bancaynegocios」は、仮に両国の関係が断絶した場合に経済にどのような影響を及ぼすかについて報じた。

「経済複雑性観測所（OEC）」によると、2022年のベネズエラからスペインへの輸出額は5億1800万ドル。うち原油・石油製品の輸出が4億3600万ドルと全体の84.17%を占めているという。

また、スペインからベネズエラへの輸出額は1億2700万ドル。品目としてはセラミック製品の輸出が最も多く963万ドルだという。

この2年間で両国の取引額は増加傾向にあり、2024年のスペインからベネズエラへの輸出額は3億ドル。ベネズエラはスペインへ20億ドルを輸出する見通しだという。

また、両国はベネズエラの航空会社2社、スペインの航空会社3社が直通便を運航している。

欧州に向かう空路としては最も多いが、仮に両国の関係が断絶された場合、これらの空路が停止する懸念がある。

既に大統領選をめぐる政治対立を理由にパナマ、ドミニカ共和国、ペルーの国際線が停止しており、スペインについても空路が停止する可能性は十分にある。

また、ベネズエラで活動するスペイン資本の会社として金融機関「BBVA」、通信会社「Telefonica」、ホテル会社「Hesperia」「Hotel Merlia」、航空会社「Iberia」「Air Europa」、エネルギー会社「Repsol」、アパレル「Inditex (Zara)」などが挙げられる。

政治関係の悪化により、これらの企業が直接・間接的な影響を受ける懸念がある。

### 「副大統領 ドミ共3.5億ドルの債権を主張」

9月11日 デルシー・ロドリゲス副大統領は、「ドミニカ共和国はベネズエラに対して3億5000万ドルの債務を負っている」と主張した。

本件は、ドミニカ共和国が米国に対して、ベネズエラの大統領専用機を引き渡したことに端を発する。

ディオスダード・カベジョ内務司法相は「Abinader（ドミニカ共和国の大統領）、ベネズエラ国民について発言する前にベネズエラに対して負っている3.5億ドルの債務を返済しろ」と発言。

しかし、Abinader 大統領は「2015年12月を最後にベネズエラから原油は購入していない」と反論していた（[「ベネズエラ・トゥデイ No.1114」](#)）。

なお、Abinader 大統領のコメントは後に訂正され、2017年2月にディーゼル燃料を輸入していたようだ。

この Abinader 大統領のコメントを受けて、ロドリゲス副大統領（石油相）は

「我々はドミニカ共和国がベネズエラに対して負っている負債3億5021万2925.48ドルについて、1セントも見逃すつもりはない」「米国政府に対するドミニカ共和国の恥ずべき降伏は、その負債を消し去るものではない」「遅延なくベネズエラに支払え」と訴えた。

### 「ヤラクイ州 天候不良でアボガドが不作」

ベネズエラはアボガドの産地である。

「ヤラクイ州果物類連合 (Afrusbaya)」は、2024年後期のアボガドの生産量がかなり少なくなるとの見通しを示した。

Nancy Palacios 副代表によると、24年前期の生産量の60%減になるという。

当初は前期と同様の生産量を期待していたが、雨が降らず生産見通しが大きく悪化したという。

ベネズエラはロシアなど外国にアボガドを輸出しているが、24年後期については輸出できるほどの生産量がないと指摘した。

2024年9月12日（木曜）

## 政治

「米国政府 マドゥロ政権関係者16人に制裁  
～マドゥロ政権 カタール合意違反を主張～」

9月12日 米国の「外国資産管理局 (OFAC)」は、ベネズエラ政府・司法・軍部関係者16人に個人制裁を科した。

制裁を科されたのは以下の16名。

## 「最高裁判所、裁判所判事」

1. Carysilia Beatriz Rodríguez 最高裁判長
2. Fanny Beatriz Márquez Cordero 最高裁判長代理
3. Malaquías Gil Rodríguez 最高裁判事
4. Inocencio Antonio Figueroa Arizaleta 最高裁判事
5. Juan Carlos Hidalgo Pandares 最高裁判事
6. Edward Miguel Briceño Cisneros 判事

## 「検察庁」

7. Luis Ernesto Dueñez Reyes 検事
8. Dinorah Yoselin Bustamante Puerta 検事

## 「軍人」

9. Domingo Hernández Lárez CoeFanb 司令官
10. Elio Estrada Paredes 国家防衛隊司令官
11. Johan Hernández Larez 地域防衛隊司令官

## 「選挙管理委員会」

12. Rosalba Gil Pacheco 役員
13. Antonio José Meneses Rodríguez 統括秘書官

## 「その他」

14. Asdrúbal José Brito Hernández Dgcim 調査部長
15. Miguel Antonio Muñoz Palacios SEBIN 副部長
16. Pedro Infante 国会第1副議長

制裁の対象になった16名は、米国に入国することが禁止され、米国の金融システムで取引を行うことが出来なくなる。同様に対象者が米国に有する全ての資産は凍結される。

米国財務省の Wally Adeyemo 次官は、制裁の理由について「当該公務員らはマドゥロ氏の大統領選当選を違法に肯定し、変革を求める大多数のベネズエラ人の表現の自由を抑圧した」と説明している。

米国政府の制裁を受けて、マドゥロ政権は声明を発表。

米国政府による国際法違反を批判。

「極右ファシスタが推進する制裁措置は誤った政策であり、カタール合意に違反しており、政権交代を指示するモンロードクトリンである」と訴えた。

先だって、「米国政府がマドゥロ政権関係者15人超へ個人制裁を科す」と報じられており、想定範囲内と言え、そこまで大きな問題には発展しないだろう（[「ベネズエラ・トゥデイ No.1111」](#)）。

## 「米国 人権侵害で約2000人のビザ停止」

9月12日 米国のアンソニー・ブリンケン国務長官は、「ベネズエラの民主主義を毀損した責任者に対して懲罰措置を科す」と発表。

マドゥロ政権を支援した2000人のビザを制限すると述べた。

ブリンケン国務長官は「今回の措置はベネズエラの選挙の透明性と検証を促進するためのもの」と説明。

「マドゥロ政権は選挙結果を偽り、マドゥロの当選を主張し、民主的な野党勢力を抑圧した」と訴えた。

## 「ゴンサレス候補 サンチェス首相と会談」

9月12日 スペインに亡命したゴンサレス候補とサンチェス首相が会談を行った。

会談と言ってもテーブルに座って協議するというよりもゴンサレス候補の娘とサンチェス首相の3人で大統領府の庭を散歩しながら会話を交わしたというのが正しいだろう。

ゴンサレス候補はサンチェス首相に対して、自分と妻を受け入れてくれたことへの感謝を伝えると同時に、スペインがベネズエラの民主主義回復と人権擁護に尽力しているとの認識を伝えたという。

サンチェス首相は、自身のソーシャルメディアアカウントにて

「人道的な観点から受け入れを決めたエドムンド・ゴンサレス氏に対して我が国への歓迎を表明した」「同時にベネズエラに対するスペインの連帯の意志を表明した」「スペインは、引き続きベネズエラの民主主義と対話と基本的人権の尊重を擁護する」と投稿した

**Edmundo González** @EdmundoGU · 17h  
 Queridos venezolanos, hoy sostuve una muy grata e interesante conversación con el Presidente del gobierno español, Pedro Sánchez (@sanchezcastejon), en la Moncloa, a quien agradecí su disposición de recibirnos a mí y a mi esposa en España. Al mismo tiempo, expresé nuestro [Show more](#)



2.9K 9.4K 29K 1.2M

(写真) @EdmundoGU

## 経済

「OVF 24年 GDP 成長率は前年比3.2%増」

「ベネズエラ金融観測所 (OVF)」は、ベネズエラの金融・経済専門家らによるベネズエラ経済見通しに関するヒアリング結果を発表した。

調査項目は

- 「2024年のインフレ率」
- 「2024年末の為替レート」
- 「2024年の経済成長率」

インフレ率の予想平均は、年率50%。  
 (前回の24年8月に行った調査は同55%)

為替レートの予想平均は、45ボリバル/ドル  
 (24年8月に行った調査も45ボリバル/ドル)

経済成長率の予想平均は、前年比3.2%増  
 (24年8月に行った調査は同3.0%増)



(写真) OVF

**「コーヒー豊作だが販売価格が安く農家は不満」**

「ベネズエラ農業生産者連合会（Fedegro）」の Pedro Vicente Pérez 代表は、9月からコーヒー豆の収穫期に入ると説明。

今期については、少なくとも110万キントルのコーヒーが収穫できるとの見通しを示した。

Pérez 代表によると、今期はかなり豊作のようだが、ベネズエラのコーヒー豆の販売価格が国際的な標準価格よりかなり安く、利益が少ないとの不満を表明した。

Pérez 代表曰く、コーヒー豆1キントルの国際価格は243ドルだが、ベネズエラのコーヒー生産者は170ドルだという。

**「ベネズエラの経済特区は国際スタンダード準拠」**

中国の廈門市（アモイ市）で「世界経済特区同盟会議（GASEZ）」が開催され、同会議にベネズエラから Johann Álvarez 経済特区監督長が出席した。

Álvarez 経済特区監督長は、  
「外国からの投資とイノベーションを促進し、持続可能な経済成長を可能にするためにベネズエラの経済特区を国際スタンダードに合わせたものにする」  
「マドゥロ大統領の政策は、自国産業の発展であり、持続可能な最も高い国際スタンダードに準拠するもの」と言及した。

**社 会****「9月末から新学年 私立学校授業料は30%増」**

ベネズエラの新学年（2024～25期）は、9月30日～10月4日の間に始まる。

この時期に授業料も改定されるようだが、今年は私立学校の授業料が30%ほど上がるという。

「私立学校教育連合（Andiep）」は、授業料の増加の要因として、年金負担法を挙げた。

24年5月 マドゥロ政権は年金負担法を施行。年金生活者に支給する年金の一部を企業に補填させるため、労働者報酬の9%を拠出するよう義務付けた（[「ベネズエラ・トゥデイ No.1065」](#)）。

教育機関も年金を負担する対象に入っており、これがコストを上げる一因になっているとしている。

また、現時点で教員の給料は低く、良い人材を維持するために給料の引き上げが必要としている。

以上